

# 2009年12月期(第31期) 決算説明資料

2010年2月12日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

# 2009年12月期業績概要(1)

## <経済の動向>

### ① わが国経済は引き続き厳しい状況で推移

- ・世界的な景気低迷に伴い、年初より大変厳しい状況で推移。
- ・年後半には在庫調整一巡や経済対策効果等により、好転の兆しも見られた。
- ・雇用情勢の悪化、設備投資の減少、個人消費の低迷が続いた。

### ② 世界経済も引き続き深刻な状況が続く

- ・アメリカ・ヨーロッパでは、雇用が悪化した。
- ・中国等の海外経済の一部には、持ち直しの動きも見られた。

# 2009年12月期業績の概要(2)

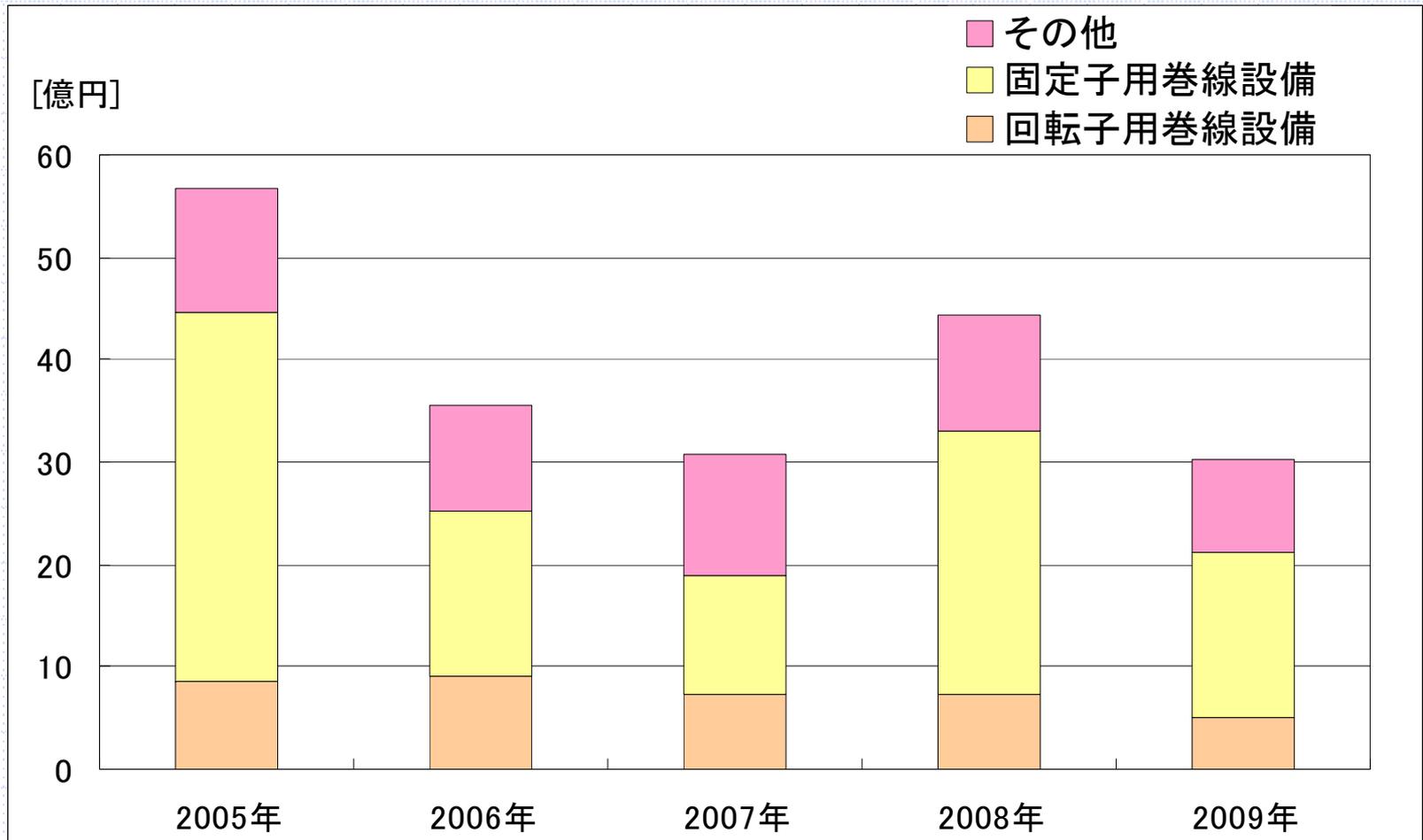
## <ODAWARAグループの活動>

- ① モーター製造業界の設備投資動向に沿った製品を提供
- ② 積極的な営業活動を展開
- ③ 更なる技術開発とコストダウンに努めた
- ④ お客さまに満足いただける、生産効率向上に寄与する製品を開発
  - ・エアコンや冷蔵庫の省エネ化促進、高占積率インバーター用モーターの直巻々線機
  - ・小型、高トルクの電装品用整流子モーターの高占積対応巻線機
- ⑤ 連結業績の概要
  - ・受注は年後半に回復、受注高2,928百万円(前期比31.3%減)、受注残高2,217百万円(前期比4.6%減)。
  - ・年前半の受注低調が影響し、売上高は3,035百万円(前期比31.7%減)。
  - ・徹底したコストダウンに取り組むも、開発要素の高い案件や、先を見据えた研究開発により、営業利益90百万円(前期比85.4%減)、経常利益140百万円(前期比81.5%減)、当期純利益82百万円(前期比75.7%減)となる。

## 経営指標等の推移(連結)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
売上高 (百万円)	5,681	3,560	3,086	4,444	3,035
経常利益 (百万円)	873	265	322	761	140
当期純利益 (百万円)	396	305	175	339	82
純資産額 (百万円)	6,889	6,856	6,956	7,150	7,070
総資産額 (百万円)	8,701	7,889	8,479	8,857	8,355
1株当たり純資産 (円)	1,088	1,162	1,180	1,213	1,200
1株当たり当期純利益 (円)	59.97	49.45	29.71	57.57	13.99
売上高経常利益率 (%)	15.4	7.5	10.4	17.1	4.6

# 製品別売上高推移(連結)



# 業績推移(連結)

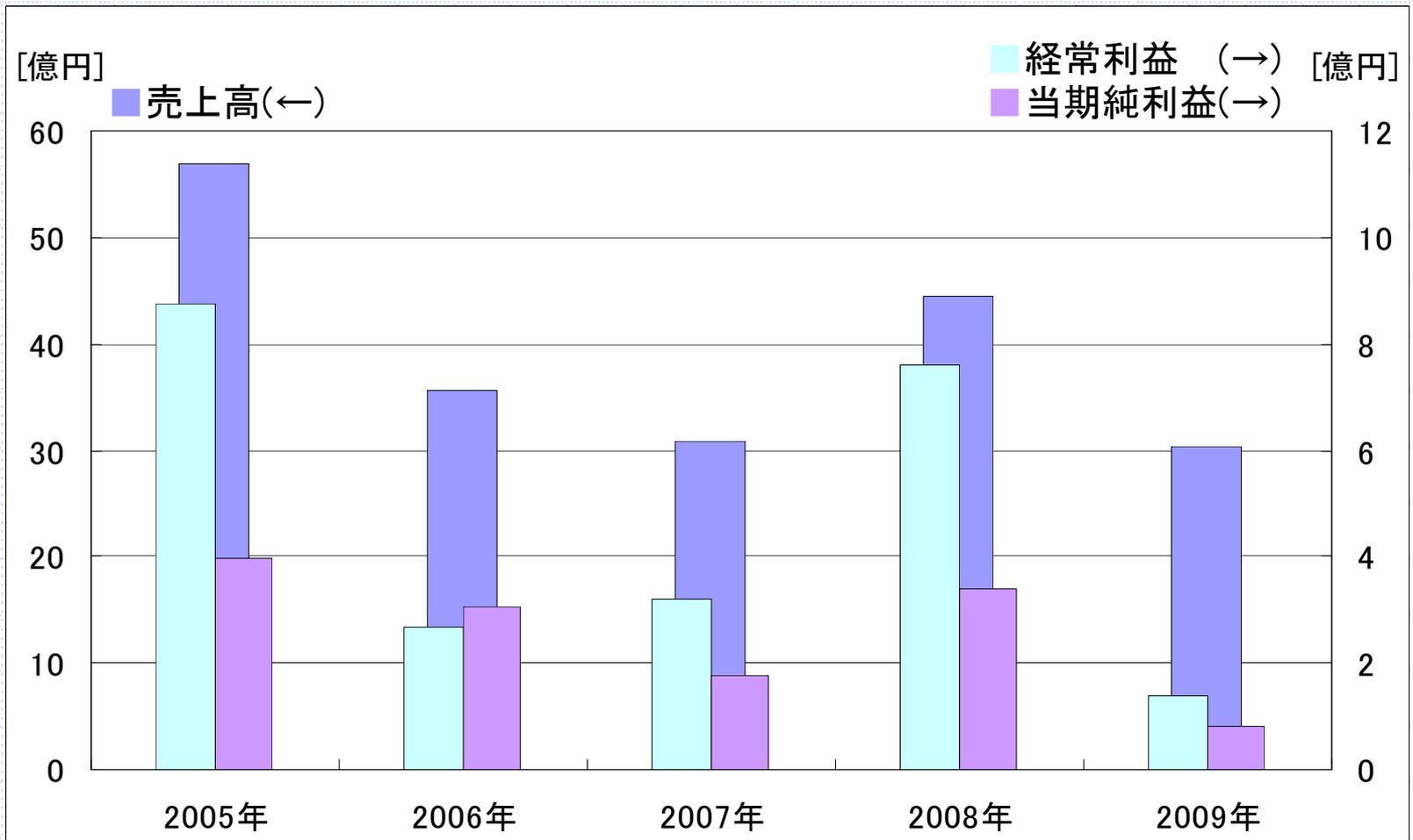
2005年：設備投資が好調に推移

2006年：前年の反動で、設備投資鈍化の影響

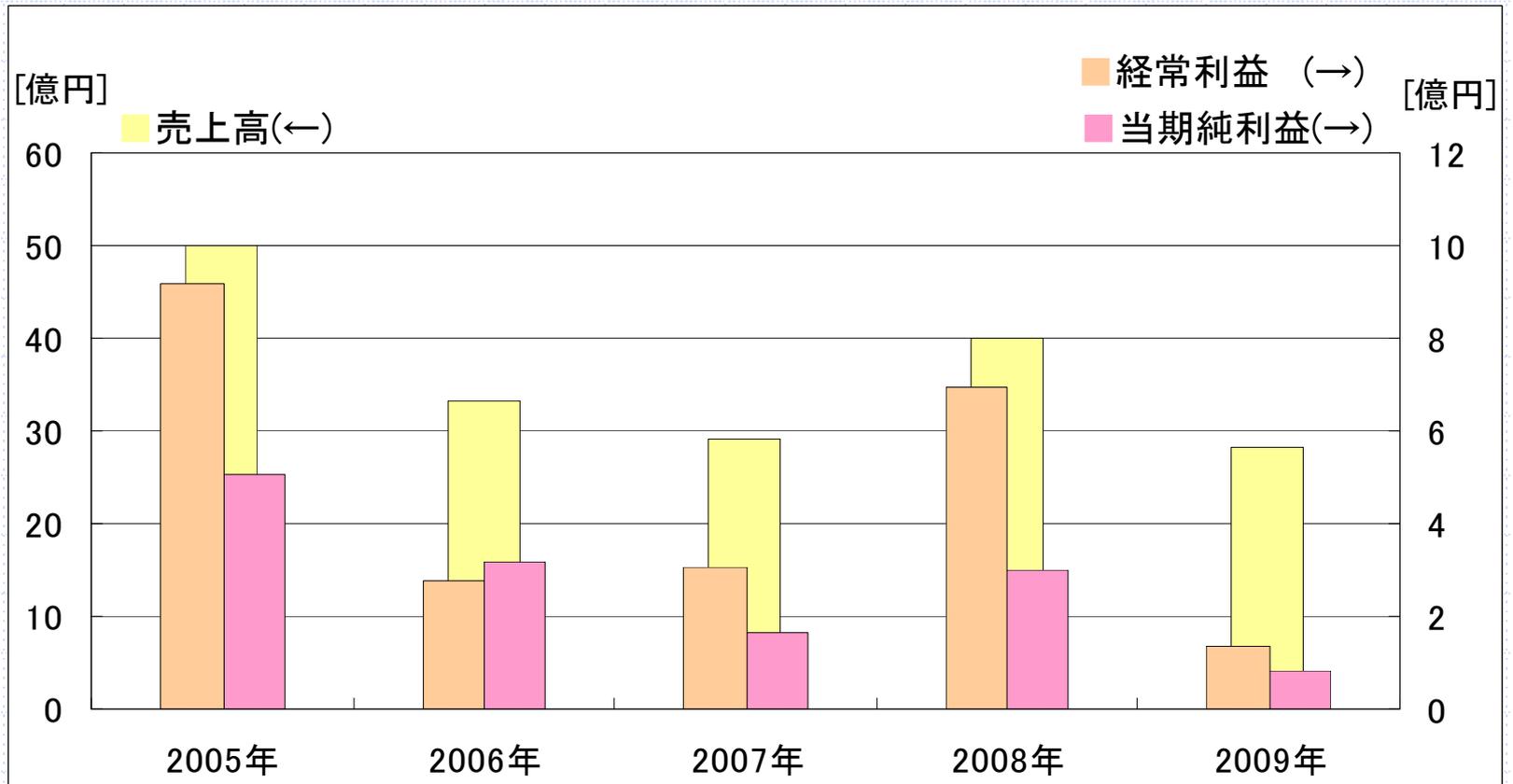
2007年：前年に続き上半期までの営業成績が低調

2008年：年後半までの受注獲得が順調、原価率が改善

2009年：年前半の受注低調が業績へ影響

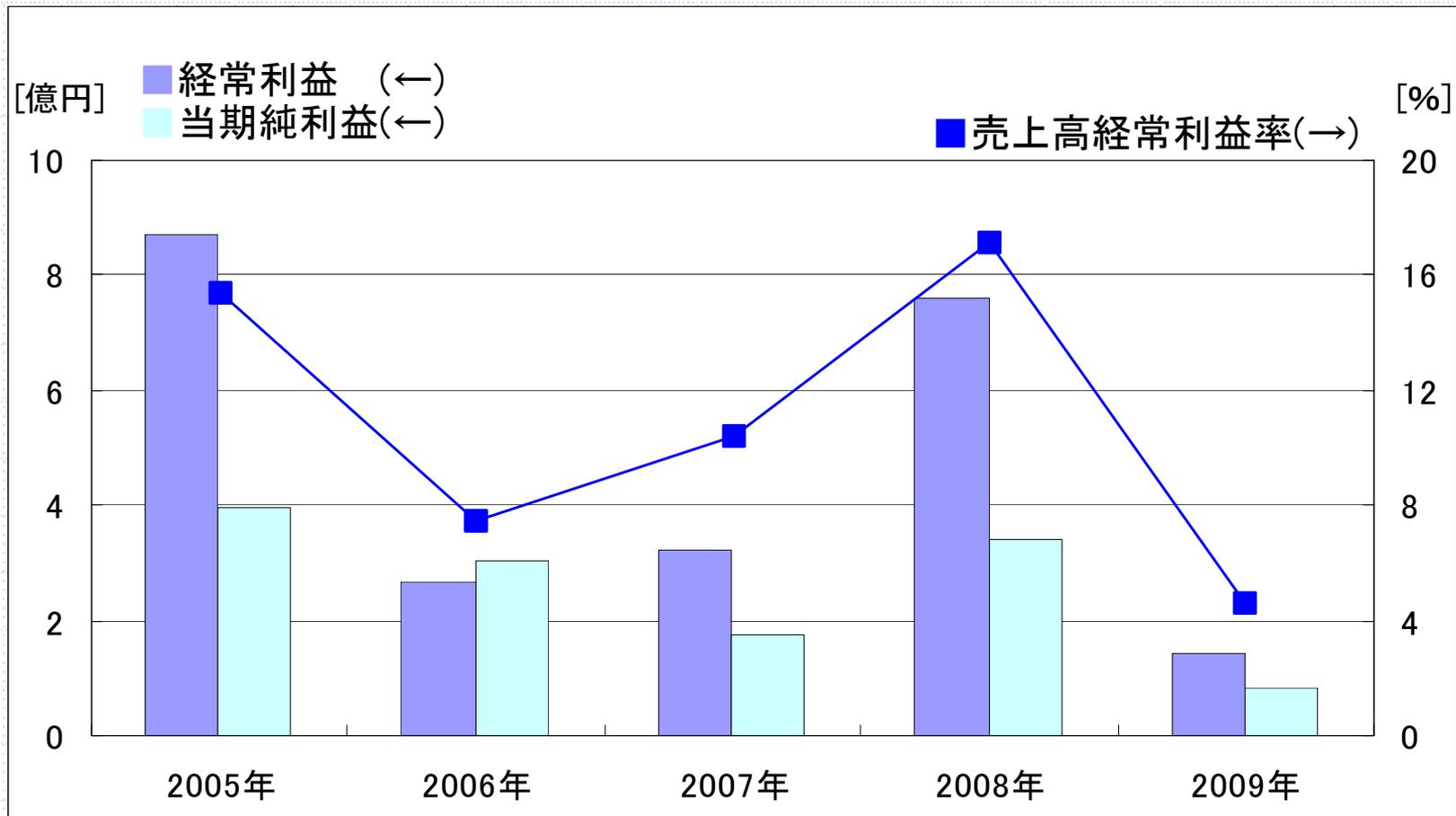


# 業績推移(単独)

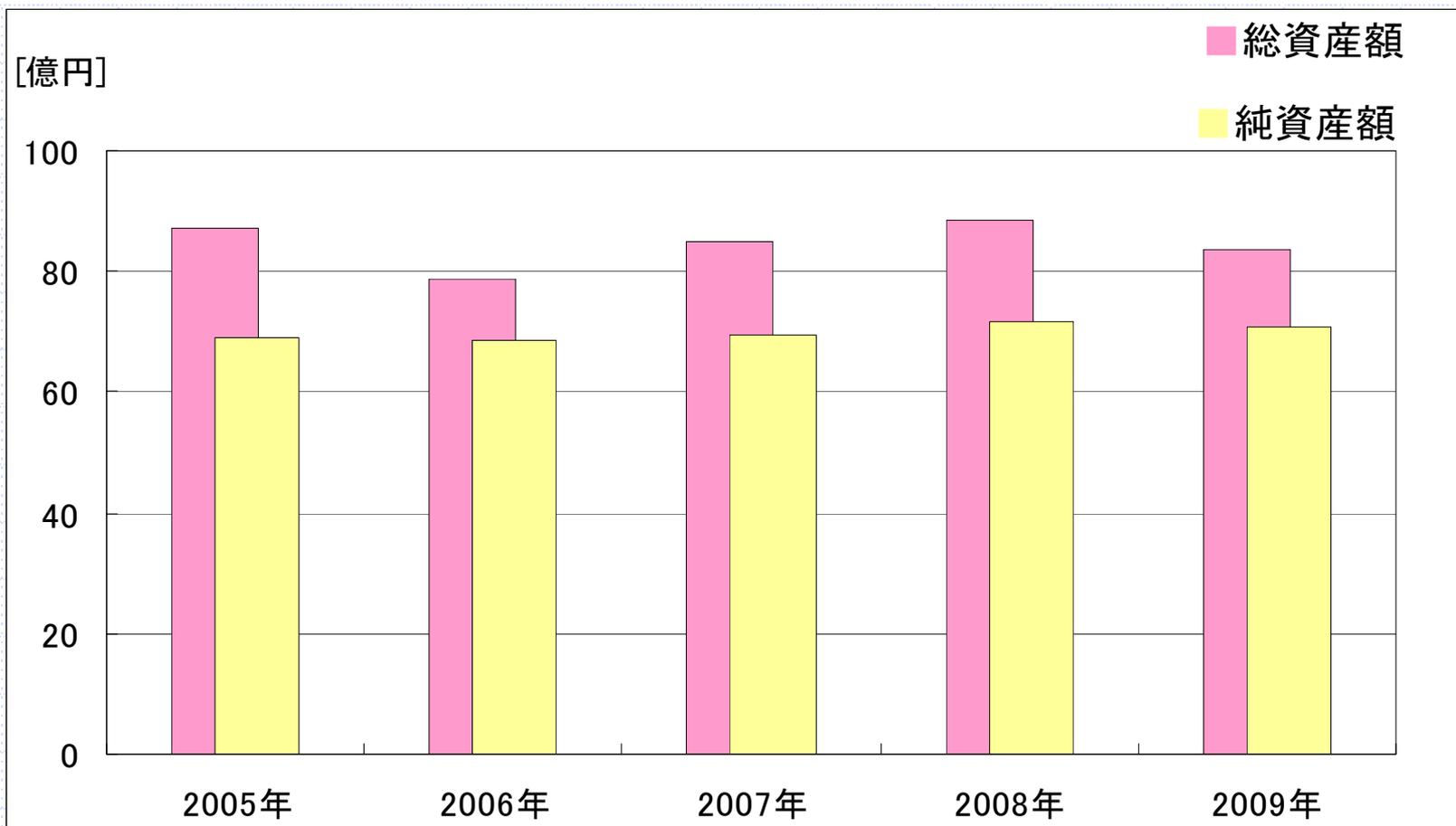


# 經常利益・当期純利益

## ・売上高經常利益率(連結)

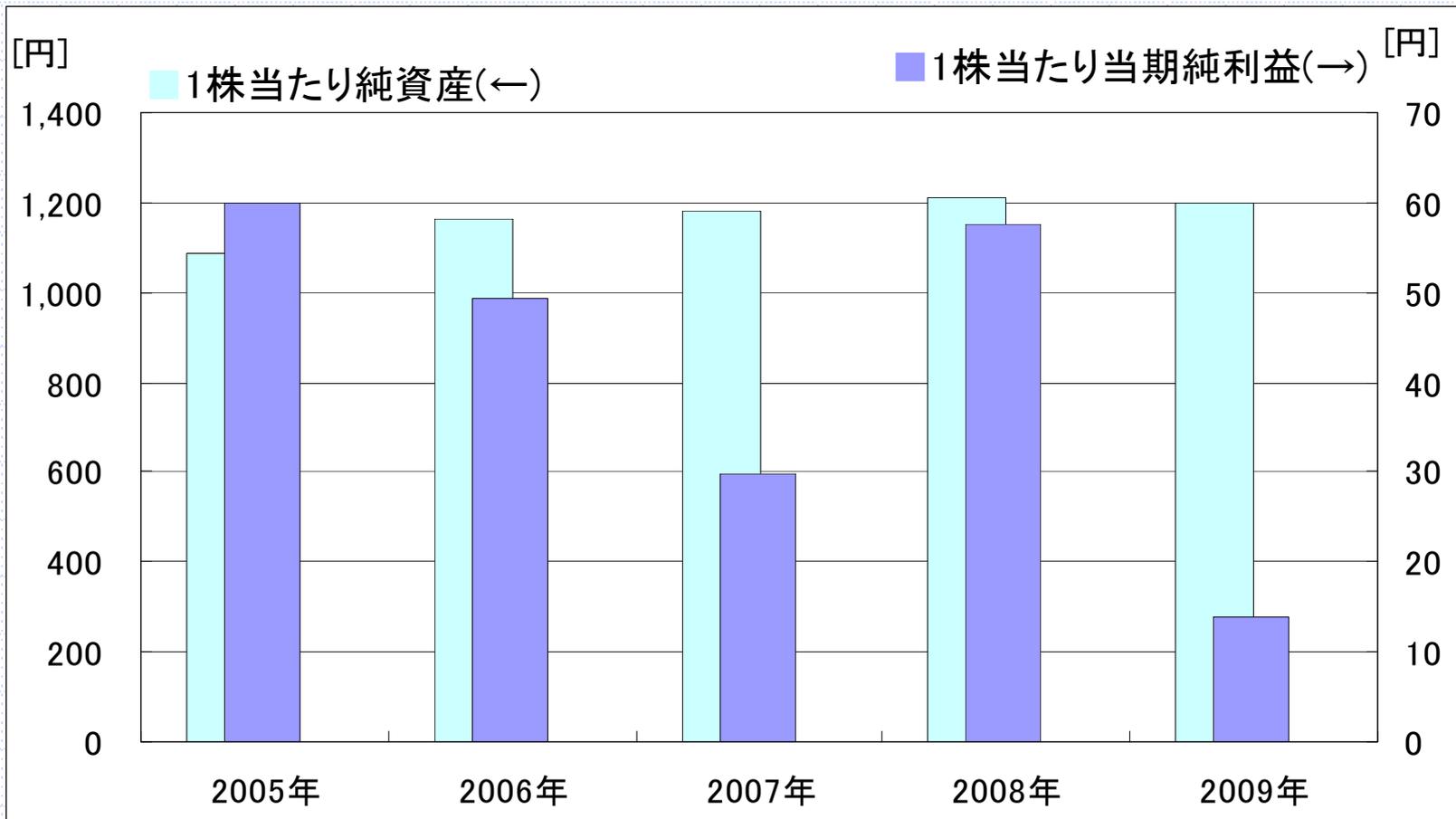


# 総資産額・純資産額(連結)

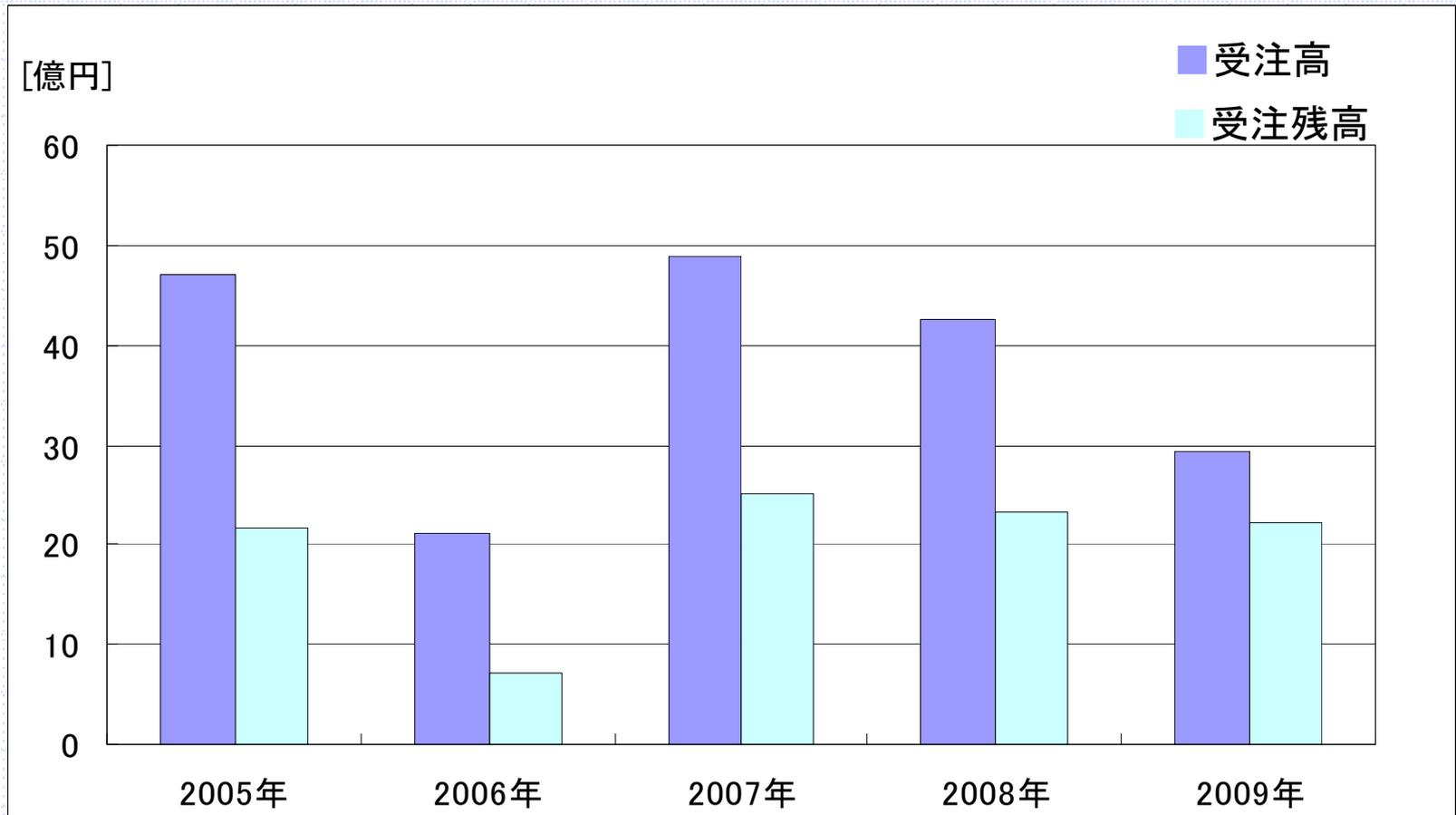


# 1株当たり純資産額

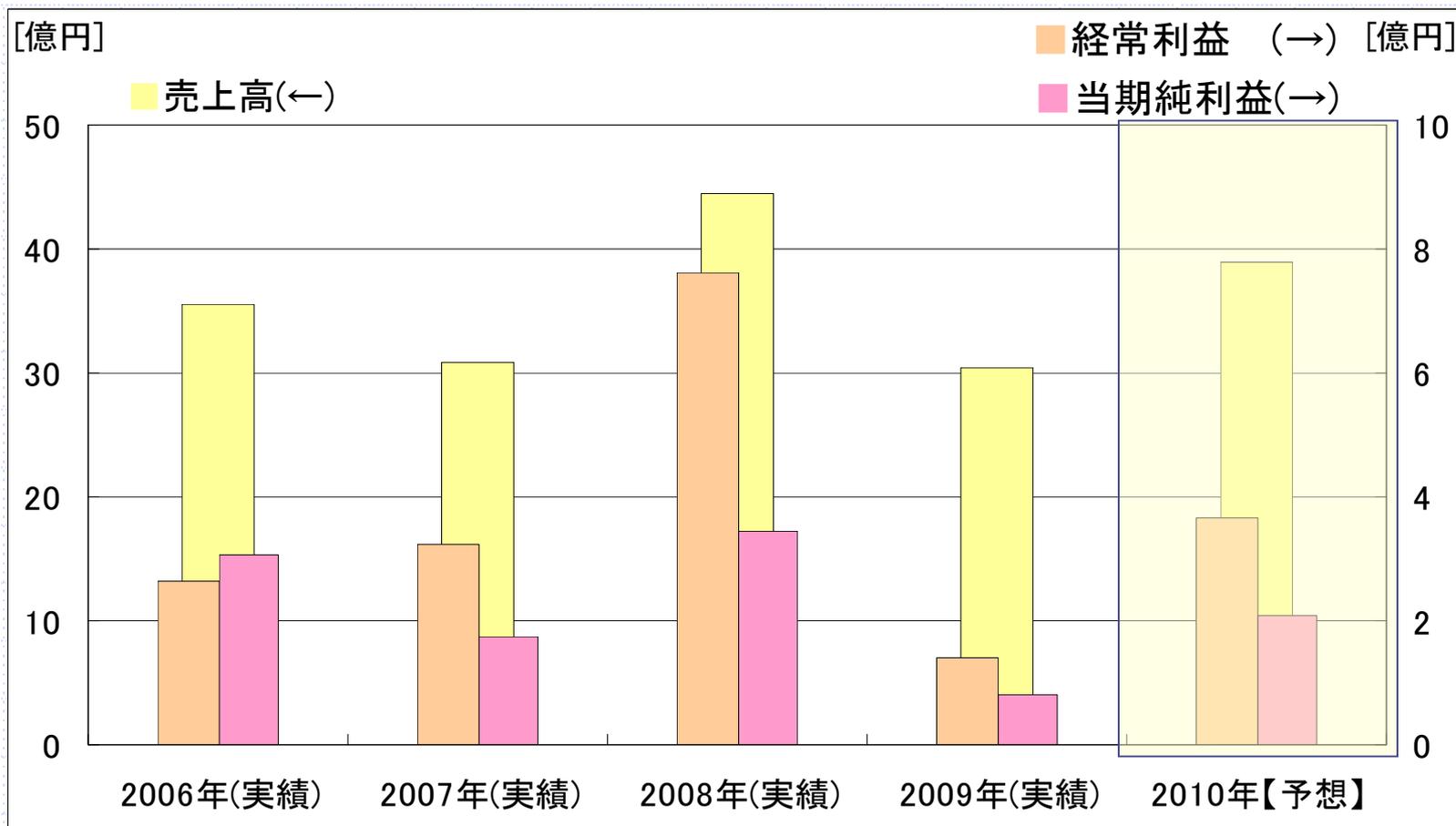
## ・ 1株当たり当期純利益(連結)



# 受注動向(連結)



# 業績予想(連結)



# 決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実施の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング